

令和 3 年 5 月 26 日現在

機関番号：12601

研究種目：基盤研究(A) (一般)

研究期間：2016～2020

課題番号：16H02381

研究課題名(和文) 地域性の継承を可能とする復興プロセスの構築に関する研究

研究課題名(英文) Study on the construction of a recovery process that enables the inheritance of place characteristics

研究代表者

窪田 亜矢 (Kubota, Aya)

東京大学・大学院工学系研究科(工学部)・特任教授

研究者番号：30323520

交付決定額(研究期間全体)：(直接経費) 34,240,000円

研究成果の概要(和文)：災害は地域固有の理由で発生し、様々な状況をもたらす。しかし共通しているのは、一日でも早く元の生活に戻りたいと願っている被災者がいる中で、復興事業の拡大・長期化により、元の居住地に帰ることが困難になっているということだ。また、災害発生後の多段階の事業計画・実施においては、住民、自治体、専門家が相互に補完し合うことが重要だ。以上より、震災後の空間計画を議論、策定するにあたっては、復興ではなく、被災前の状態に戻すという理念を関係者が共有することは、場所の特性を継承するための必要条件であると示唆される。しかし、これは十分条件ではないことを認識しなければならない。

研究成果の学術的意義や社会的意義

本研究「地域性の継承を可能とする復興プロセスの構築に関する研究」では、過去に被災して復興計画や復興事業が進行中である東日本大震災の津波や原発事故の被災地域を研究対象としたことで、数多くの国内外の学術査読論文となっており、学術的意義が認められる。また、研究期間中の西日本豪雨災害などについても研究対象としており、研究メンバーらが実践的に被災地域に貢献している。さらに、今後の首都直下や頻発化している水害対応を組み込んだ空間計画について、行政が主催する議論の場にも多くのメンバーが関与しており、本研究で得られた知見が現場に反映されつつある。

研究成果の概要(英文)：Disasters occur for reasons unique to each region and bring about a variety of situations, but the common is that the expansion and prolongation of reconstruction projects makes it difficult for disaster victims to return to their original places of residence, but many of them hope to return to their normal lives as soon as possible. In the aftermath of a disaster, it is important for residents, local governments, and experts to complement each other in the multi-stage planning and implementation of projects. Therefore, it is suggested that it is a necessary condition to enable the inheritance of place characteristics if the actors involved share the post-disaster philosophy of restoring the pre-disaster state rather than reconstruction. However, it must be recognized that this is not a sufficient condition.

研究分野：都市計画

キーワード：復興デザイン 地域性 災害対応 土地利用 継承

## 様式 C - 19、F - 19 - 1、Z - 19 (共通)

### 1. 研究開始当初の背景

多くの災害が生じ続けている。災害の種類には、自然災害、人為災害、それらの複合と様々であるが、災害は常に人間が暮らしている空間との関係によって生じており、そこには空間計画が関与しているという点は、いずれにも共通している。そのため、災害への対応として、事前の防災のみならず、事後の復興計画においても、都市や地域の建築物や街区、インフラストラクチャーに至るまで、空間計画の必要性が高まっている。

しかし、実際の現場においては、被災者・被災地域のみならず、専門家にとっても、必ずしも納得のいく復興計画や復興事業が実施されているとはいえない状況がある。

南海トラフや首都直下などの甚大な被害が近づいている中で、東日本大震災のような大規模で広範囲にわたる複合災害の災後を、批判的に検証する必要がある。そのためには、災害以前からの地域の歴史的経緯の延長上に、災害や災後を理解しなければならない。

また、たとえば、気候危機による土砂災害と新型コロナウイルス感染症などが同時に生じる複合災害も想定しなければならない中で、土地利用計画や都市計画は、どのように次の災害に備えておけばよいのか、どのように避難し、復興していけるのか、という点は、社会的にも強く重く期待されているといえよう。

### 2. 研究の目的

本研究「地域性の継承を可能とする復興プロセスの構築に関する研究」では、過去の災害復興の事例に加えて、災害が生じてから未だ日が浅く、復興プロセスが現在進行中である地域、とりわけ研究メンバーが進行中の復興に何らかの形で実践的に関わっている地域(いか、実践地域)を対象に、どのような災前があり、どのような災害があり、どのような災後があるのか、という時間軸に沿った事実を比較しながら、地域性がどのように変容し、あるいは生成されていくのか、という点を明らかにすることを目的とする。

具体的には、それぞれの地域が、過去の同様の災害、もしくは異質の災害に、どのように対応してきたのか、その結果、どのような空間が形成されてきたのか、という事実を明らかにする。

さらに、それらの事例の一つずつに対して、良いか悪いかという単純な評価は避け、各分野(建築、土木、都市工学)の視点から横断的に比較して、共通点と相違点を整理する。

以上により、災後の空間計画の新たな方向性を提示する。

### 3. 研究の方法

研究の方法はデータ収集の対象という点で、大きく二つに分類できる。

一つは過去の被災事例である。歴史的事実を掘り起こしながら、当時の社会的背景を整理しつつ、現時点の物理的環境や社会的関係への被災の影響を、現地調査やインタビュー調査によって把握した。近年の被災であれば、被災者の他に、議会の議事録や当時の担当職員インタビューも行った。

もう一つは、災害の発生からまだ日が浅く、復興プロセスの期間中で、研究メンバーが深く関わっている事例だ。その中には、研究期間中に生じた被災も含まれる。関わり方の具体的な例としては、復興計画の委員会などの委員等の公的な場への参加、被災自治体に依頼されてアドバイスなどを行う関与、被災住民らの復興活動を支援する実践的支援など様々だが、多様な角度からの最新の情報や動向の理解に努めた。

分析という点からは、多くの事例を対象にして横断的に比較しながら共通するメカニズムや固有の特徴を見極める方法と、一つの事例について参与観察などによって深く掘り下げてプロセスを理解する方法の、大きく二つに分けられる。東日本大震災後の事例についてはこれらを組み合わせ、横断的な理解によって、各事例の特徴を理解した上で、一つの事例を詳細に理解し、そこで得られた知見を、横断的な理解の枠組みとして活用する。そのような往還が、復興プロセス研究においては有効だと考える。

### 4. 研究成果

複数の被災事例を横断的に研究対象としたことで、津波の構成(伝播、破壊、遡上、漂流物など)や避難行動(開始の契機、経路の選択、判断要素、地域の社会的状況の影響など)のメカニズム、被災前と被災後の空間計画の一貫性と断続、被災や復興計画と事業継続の関係について理解が精緻化された。

一方、特定の事例を対象にした長期の調査により、明らかにした点は以下の通りである。

仮設住宅については、避難所から移動する当初の入居時の問題、利用期間の被災者によるコミュニティの形成や継続の契機、閉鎖に至った際に取り残された被災者の実態把握、大規模災害における仮設住宅入居のための大規模移動がもたらす困難さ、などが明らかとなった。

復興計画と事業再開との関係、津波常襲地域における平時の空間計画と災害直後の復興期における事業との関係、それぞれの地域における事業期間短縮のための具体的な工夫など、これまでも議論はされてきたものの、曖昧な議論で終わっていた論点も具体的な事例研究によって実証的に明らかとなった。

原子力発電所の水素爆発による事例においても、帰還が進んでいる地域での被災者や流入者による交流の場づくりなどの取り組みのプロセス、帰還が進んでいない地域において被災者が望んでいた復興像とそれが実現しなかった状況、原発との距離や被災前の経緯から生じている各自治体の被災後の差の実態把握などが、実践的研究によって明らかとなった。

地域の履歴、立地、物理的社会的状況、災害の種類、時期、頻度、規模など、各事例が提示する論点は多岐にわたるが、いずれにおいても、復興事業の拡大と長期化によって被災者が元の居住地に戻りにくい状況があること、しかし被災者の多くが元の生活に早く戻ることを願っているという点は、共通している。その中には、津波浸水により災害危険区域となった海岸沿い低地部や、地域が汚染されて帰還困難区域となった原発事故複合被災地域も含まれる。経度緯度という点で同じ場所ではなかったとしても、元の場所への帰還が、被災者によって望まれているが、しかし空間計画の策定者は十全にその希望を受け止めているわけではない。災後の復興プロセスにおいては、住民・自治体・専門家が相互に補完しながら、現場で生じている実践を尊重しながら、多段階の計画と事業の実施を進めることが重要である。

以上をふまえれば、災後の理念とは、復興ではなく、災前の状態を取り戻すということだ。まず関係主体がそうした災後の理念を共有することは、地域性の継承を可能にするための必要条件であると示唆される。しかし、災後の理念が共有されたからといって、災前の状態が取り戻せるわけではなく、つまり地域性が継承されるとは限らず、理念の共有は十分条件ではないことを認識せねばならない。

## 5. 主な発表論文等

〔雑誌論文〕 計121件（うち査読付論文 102件 / うち国際共著 27件 / うちオープンアクセス 52件）

1. 著者名 R. Ishii, M. Kikuchi, K. Iwadate, E. Hato, T. Ishigami, W. Mogi	4. 巻 -
2. 論文標題 Practical Evaluation Method for Policies to Improve Walkability in Central Urban Area Using Pedestrian Behavior Modeling	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Proceedings of the 99th Annual Meeting Transportation Research Board	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 M. Yonezawa, D. Shimizu, E. Hato	4. 巻 -
2. 論文標題 Evaluation of Local Congestion Management Using Generalized Recursive Logit Model in Time-Space Network	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Proceedings of the 99th Annual Meeting Transportation Research Board	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Hara, Y. and Hato, E.	4. 巻 46-1
2. 論文標題 Analysis of dynamic decision-making in a bicycle-sharing auction using a dynamic discrete choice model	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Transportation	6. 最初と最後の頁 147-173
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する
1. 著者名 Oyama, Y., Hato, E.	4. 巻 122
2. 論文標題 Prism-based path set restriction for solving Markovian traffic assignment problem	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Transportation Research Part B	6. 最初と最後の頁 528-546
掲載論文のDOI（デジタルオブジェクト識別子） なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 石井健太, 山野孝成, 羽藤英二	4. 巻 54-3
2. 論文標題 オイラー・ラグランジュ型観測に基づく経路選択モデルの情報量推定	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 726-733
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 米澤実保, 清水大暉, 羽藤英二	4. 巻 54-3
2. 論文標題 時空間スケジューリングモデルを用いた局所的な混雑の総合評価手法	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 734-741
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 小林里瑛, 羽藤英二	4. 巻 54-3
2. 論文標題 EMアルゴリズムを用いた土地所有形態選択問題のモデル化	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 1245-1252
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Yamanaka Yusuke, Sato Shinji, Shimozone Takenori, Tajima Yoshimitsu	4. 巻 61
2. 論文標題 A numerical study on nearshore behavior of Japan Sea tsunamis using Green's functions for Gaussian sources based on linear Boussinesq theory	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Coastal Engineering Journal	6. 最初と最後の頁 187 ~ 198
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/21664250.2019.1579462	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Tajima Yoshimitsu, Wu Lianhui, Fuse Takashi, Shimozono Takenori, Sato Shinji	4. 巻 61
2. 論文標題 Study on shoreline monitoring system based on satellite SAR imagery	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Coastal Engineering Journal	6. 最初と最後の頁 401 ~ 421
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/21664250.2019.1619252	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Shimozono T., Tajima Y., Akamatsu S., Matsuba Y., Kawasaki A.	4. 巻 9
2. 論文標題 Large-Scale Channel Migration in the Sittang River Estuary	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Scientific Reports	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1038/s41598-019-46300-x	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yamanaka Yusuke, Matsuba Yoshinao, Tajima Yoshimitsu, Shibata Ryotaro, Hattori Naohiro, Wu Lianhui, Okami Naoko	4. 巻 7
2. 論文標題 Nearshore Dynamics of Storm Surges and Waves Induced by the 2018 Typhoons Jebi and Trami Based on the Analysis of Video Footage Recorded on the Coasts of Wakayama, Japan	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Marine Science and Engineering	6. 最初と最後の頁 413 ~ 413
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3390/jmse7110413	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 YOKOBORI Masato, TAJIMA Yoshimitsu	4. 巻 75
2. 論文標題 STUDY ON INUNDATION CHARACTERISTICS AT FALEOLO, SAMOA SURROUNDED BY A FRINGING REEF WITH COMPLEX SHAPE	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B2 (Coastal Engineering)	6. 最初と最後の頁 I_163 ~ I_168
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/kaigan.75.I_163	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 KOSEKI Kento, YAMANAKA Yusuke, TAJIMA Yoshimitsu, SHIMOZONO Takenori	4. 巻 75
2. 論文標題 REQUIRED MASS OF ARMOR BLOCKS COVERING RUBBLE MOUND BREAKWATER UNDER UNSTEADY TSUNAMI FLOW	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B2 (Coastal Engineering)	6. 最初と最後の頁 I_841 ~ I_846
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/kaigan.75.I_841	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 KOJIMA Yuichi, TAJIMA Yoshimitsu, TERASAWA Tomohiko, KATO Hiroyuki, ABE Koki	4. 巻 75
2. 論文標題 STUDY ON THE EFFECT OF GRAVEL NOURISHMENT ON BEACH RECOVERY AT NAMI-ITA COAST	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B2 (Coastal Engineering)	6. 最初と最後の頁 I_565 ~ I_570
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/kaigan.75.I_565	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Taniguchi Kenji, Tajima Yoshimitsu	4. 巻 7
2. 論文標題 Variations in extreme wave events near a South Pacific Island under global warming: case study of Tropical Cyclone Tomas	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Progress in Earth and Planetary Science	6. 最初と最後の頁 —
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1186/s40645-020-0321-y	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hattori Naohiro, Tajima Yoshimitsu, Yamanaka Yusuke, Kumagai Kenzou	4. 巻 -
2. 論文標題 Study on the influence of infragravity waves on inundation characteristics at Minami-Ashiyahama in Osaka Bay induced by the 2018 Typhoon Jebi	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Coastal Engineering Journal	6. 最初と最後の頁 1 ~ 16
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/21664250.2020.1724247	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Suzuki Takayuki, Tajima Yoshimitsu, Watanabe Masashi, Tsuruta Naoki, Takagi Hiroshi, Takabatake Tomoyuki, Suzuki Kojiro, Shimozone Takenori, Shigihara Yoshinori, Shibayama Tomoya, Kawaguchi Shingo, Arikawa Taro	4. 巻 -
2. 論文標題 Post-event survey of locally concentrated disaster due to 2019 Typhoon Faxai along the western shore of Tokyo Bay, Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Coastal Engineering Journal	6. 最初と最後の頁 1~13
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/21664250.2020.1738620	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Shimozone Takenori, Tajima Yoshimitsu, Kumagai Kenzou, Arikawa Taro, Oda Yukinobu, Shigihara Yoshinori, Mori Nobuhito, Suzuki Takayuki	4. 巻 -
2. 論文標題 Coastal impacts of super typhoon Hagibis on Greater Tokyo and Shizuoka areas, Japan	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Coastal Engineering Journal	6. 最初と最後の頁 1~17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/21664250.2020.1744212	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 Morioka Jumpei, Tajima Yoshimitsu, Yamanaka Yusuke, Larson Magnus, Kuriyama Yoshiaki, Shimozone Takenori, Sato Shinji	4. 巻 -
2. 論文標題 Numerical modeling of ship wave generation using Green's functions based on linear dispersive wave theory	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Coastal Engineering Journal	6. 最初と最後の頁 1~19
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1080/21664250.2020.1755794	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する
1. 著者名 水上俊太, 井本佐保里, 新山雅人, 大月敏雄, 西出和彦	4. 巻 774
2. 論文標題 建設型応急仮設住宅団地におけるサポート拠点利用の変遷に関する研究-岩手県釜石市平田地区サポートセンターを対象として-	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 新山雅人, 井本佐保里, 水上俊太, 西出和彦	4. 巻 -
2. 論文標題 日本大震災における高齢者の再建行動の意思決定要因及び生活評価に関する研究 岩手県釜石市の仮設住宅団地におけるインタビュー調査を通して	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本建築学会技術報告集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 水上俊太, 井本佐保里, 新山雅人, 大月敏雄, 西出和彦	4. 巻 14
2. 論文標題 支援世帯における大規模災害後の避難プロセスが及ぼす仮設住宅入居の要因 - 岩手県釜石市平田地区の仮設住宅団地入居者を対象として	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 日本建築学会住宅系研究報告会論文集	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 村上 道夫, 小林 智之, 窪田 亜矢, 安東 量子, 南原 摩利	4. 巻 8
2. 論文標題 Well-Beingに向けたリスクコミュニケーションと協働活動	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 日本放射線看護学会誌	6. 最初と最後の頁 46 ~ 47
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.24680/rnsj.8.1_46	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 MATSUSHITA Tomoko, KUBOTA Aya	4. 巻 85
2. 論文標題 STUDY ON THE REVITALIZATION OF BACK DRAINAGE SPACE IN YANGON CITY, MYANMAR	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 Journal of Architecture and Planning (Transactions of AIJ)	6. 最初と最後の頁 567 ~ 577
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.85.567	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 KUBOTA Aya	4. 巻 84
2. 論文標題 STUDY ON ZONING IN NUCLEAR POWER PLANT DISASTER AREA	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Architecture and Planning (Transactions of AIJ)	6. 最初と最後の頁 1947 ~ 1956
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.84.1947	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 ITO Tomohiro, KUBOTA Aya, ARAMAKI Toshiya, NOTO Kentaro	4. 巻 84
2. 論文標題 A STUDY ON THE MANAGEMENT OF COMMON WATERING SITES IN URBAN VILLAGES, HANOI	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Architecture and Planning (Transactions of AIJ)	6. 最初と最後の頁 1747 ~ 1756
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.84.1747	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 KUBOTA Aya	4. 巻 84
2. 論文標題 STUDY ON THE PROCESS FROM WINNING LAWSUIT TO CONCILIATION IN THE DISASTER AREA OF ITAI-ITAI DISEASE	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Architecture and Planning (Transactions of AIJ)	6. 最初と最後の頁 1789 ~ 1797
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.84.1789	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 WAKAMATSU Hisao, NAKAJIMA Naoto, KUBOTA Aya, NISHIMURA Yukio	4. 巻 84
2. 論文標題 STUDY ON THE PROCESS ABOUT ESTABLISHMENT OF PUBLIC OBSERVATORIES INCLUDED IN HIGHRISE BUILDINGS. IN TOKYO REGION	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Architecture and Planning (Transactions of AIJ)	6. 最初と最後の頁 1693 ~ 1703
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.84.1693	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 NAGATO Wataru, KUBOTA Aya	4. 巻 84
2. 論文標題 THE TRANSFORMATION OF A FORMER FISHERY DISTRICT IN THE METROPOLITAN AREA	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 Journal of Architecture and Planning (Transactions of AIJ)	6. 最初と最後の頁 2311 ~ 2321
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.84.2311	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 北原 麻理奈、窪田 亜矢	4. 巻 54
2. 論文標題 地方都市中心市街地の歴史的地区における近代以降の土地所有変遷に関する研究	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 313 ~ 320
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.54.313	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 永門 航、窪田 亜矢	4. 巻 54
2. 論文標題 大都市近郊旧漁師町における空間構造変容と土地所有動態に関する研究	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 1351 ~ 1358
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.54.1351	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Choi Chang Yeol, Honda Riki	4. 巻 10
2. 論文標題 Motive and conflict in the disaster recovery process	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Disaster Resilience in the Built Environment	6. 最初と最後の頁 408 ~ 419
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1108/IJDRBE-07-2014-0057	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 Kotani Hitomu, Honda Riki, Imoto Saori, Shakya Lata, Shrestha Bijaya Krishna	4. 巻 44
2. 論文標題 Transition of post-disaster housing of rural households: A case study of the 2015 Gorkha earthquake in Nepal	5. 発行年 2020年
3. 雑誌名 International Journal of Disaster Risk Reduction	6. 最初と最後の頁 101443 ~ 101443
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijdrr.2019.101443	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kotani Hitomu, Honda Riki, Sugitani Ryoh	4. 巻 39
2. 論文標題 Transition in subjective factors to trigger recovery action of rural residents affected by the 2015 Gorkha Nepal earthquake	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Disaster Risk Reduction	6. 最初と最後の頁 101239 ~ 101239
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijdrr.2019.101239	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Kotani Hitomu, Honda Riki	4. 巻 39
2. 論文標題 Effective combinations of information content and channels for the post-disaster reconstruction of rural housing: A case study of the 2015 Gorkha Nepal Earthquake	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 International Journal of Disaster Risk Reduction	6. 最初と最後の頁 101118 ~ 101118
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1016/j.ijdrr.2019.101118	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 黒木 桃子, 黒瀬 武史	4. 巻 54-3
2. 論文標題 市街化調整区域における開発許可制度を中心とした定住化促進の取り組みの実態: 福岡市における3411条例および3412条例を事例として	5. 発行年 2019年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 1123 - 1130
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 益邑 明伸、窪田 亜矢	4. 巻 53
2. 論文標題 東日本大震災津波被災市街地の再整備と被災事業者の動向に関する研究	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 905～912
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.53.905	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 萩原 拓也、窪田 亜矢	4. 巻 53
2. 論文標題 津波常習地域における漁業集落環境整備事業に関する研究	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 881～888
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.53.881	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 石山 千代、窪田 亜矢、西村 幸夫	4. 巻 53
2. 論文標題 集落・町並み保全地域における地域主体の調整システムの構築と調整課題の変遷に関する研究	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 1239～1246
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.53.1239	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 伊藤 智洋、窪田 亜矢	4. 巻 53
2. 論文標題 バンコク郊外駅周辺における歩行路ネットワークの構成と形成過程に関する研究	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 830～837
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.53.830	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 諸隈 紅花、窪田 亜矢	4. 巻 53
2. 論文標題 脱工業化時代の大都市における製造業維持の実現方法に関する研究	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 243 ~ 250
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.11361/journalcpj.53.243	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 HAGIWARA Takuya, OTA Yoshino, KUBOTA Aya	4. 巻 83
2. 論文標題 STUDY ON HOUSES KEPT OR REBUILT AT A VILLAGE AFFECTED BY THE NUCLEAR ACCIDENT	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Architecture and Planning (Transactions of AIJ)	6. 最初と最後の頁 1809 ~ 1819
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.83.1809	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 WAKAMATSU Hisao, NAKAJIMA Naoto, KUBOTA Aya, NISHIMURA Yukio	4. 巻 83
2. 論文標題 STUDY ON THE SPATIAL CHARACTERISTICS OF PUBLIC OBSERVATORIES INCLUDED IN HIGHRISE BUILDINGS. IN TOKYO REGION	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Architecture and Planning (Transactions of AIJ)	6. 最初と最後の頁 1217 ~ 1227
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.83.1217	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 MOROKUMA Benika, KUBOTA Aya	4. 巻 83
2. 論文標題 ROLES OF U.S. STATE HISTORIC PRESERVATION OFFICE AND EFFECT OF ITS REVIEWS IN THE REDEVELOPMENT OF PUBLICLY OWNED HISTORIC PLACES	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Architecture and Planning (Transactions of AIJ)	6. 最初と最後の頁 1037 ~ 1047
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.83.1037	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 IMOTO Saori, OTSUKI Toshio	4. 巻 80
2. 論文標題 ESTABLISHMENT AND DEVELOPMENT PROCESS OF SCHOOL-NEIGHBORHOOD ENVIRONMENT IN RURAL SEMI-ARID AREA IN KENYA	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Architecture and Planning (Transactions of AIJ)	6. 最初と最後の頁 9~18
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.80.9	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tomoko Matsushita, Kimiro Meguro, Aya Kubota	4. 巻 in print
2. 論文標題 comparative study of planning history, spatial development and sociological significance of the back alley in Yangon and Singapore	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 The 18th International Planning History Society Conference Paper	6. 最初と最後の頁 in print
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 該当する

1. 著者名 CHINO Yuto, SUZAWA Shiori, IMOTO Saori, OTSUKI Toshio	4. 巻 83
2. 論文標題 PROCESS OF RELOCATION OF PUBLIC SCHOOLS IN FUKUSHIMA	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Journal of Architecture and Planning (Transactions of AIJ)	6. 最初と最後の頁 1205~1215
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.3130/aija.83.1205	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 森田 健太郎, 黒瀬 武史	4. 巻 34
2. 論文標題 海岸線の変化に伴う漁業集落の空間構成の変容に関する研究 : 長崎県壱岐市勝本浦正村地区を事例として	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 都市・建築学研究 : 九州大学大学院人間環境学研究院紀要	6. 最初と最後の頁 7-12
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている(また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 浦田淳司, 羽藤英二	4. 巻 73
2. 論文標題 豪雨災害時の避難開始選択における他者避難と人的ネットワークの影響評価	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 土木学会論文集D3 (土木計画学)	6. 最初と最後の頁 24-39
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 浦田淳司, 羽藤英二	4. 巻 3
2. 論文標題 津波リスク最小化のための送迎避難交通の最適動的制御とその求解方法	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 交通工学Vol. 3	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 吉野大介, 羽藤英二	4. 巻 52-3
2. 論文標題 包絡分析法を用いた地域公共交通需要の顕在化率に関する動的評価	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 802-809
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大山雄己, 羽藤英二	4. 巻 52-3
2. 論文標題 多目的最適化に基づく歩行者の活動ネットワークデザイン	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 810-817
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -



1. 著者名 大山雄己, 羽藤英二	4. 巻 3-5
2. 論文標題 一般化RLモデルを用いた災害時の経路選択行動分析	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 交通工学論文集	6. 最初と最後の頁 1-10
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 大山 雄己, 羽藤 英二	4. 巻 73-4
2. 論文標題 時間構造化ネットワーク上の確率的交通配分	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 土木学会論文集D3 (土木計画学)	6. 最初と最後の頁 186-200
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 早川敬一郎, 羽藤英二	4. 巻 -
2. 論文標題 閉ループ構造を有する過飽和ネットワークの交通制御	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 土木学会論文集D3	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 萩原拓也, 窪田亜矢	4. 巻 52-3
2. 論文標題 津波常習地域における復興と平時の空間変容の関係についての研究: 昭和三陸津波後に集団移転した集落の東日本大震災までの変容とその後の復興に着目して	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 都市計画学会論文集	6. 最初と最後の頁 1163-1170
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 柏原沙織, 藤岡麻理子, 鈴木伸治, 窪田亜矢, 西村幸夫	4. 巻 52-3
2. 論文標題 ベトナム・ハノイ旧市街の町並み保全の仕組み・取組の変遷に関する研究: 動的な無形要素のとらえ方の発展に着目して	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 都市計画学会論文集	6. 最初と最後の頁 1218-1225
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 石山千代, 窪田亜矢, 西村幸夫	4. 巻 82-740
2. 論文標題 集落・町並み保存地区における自主規範の法制化の過程に関する研究: 妻籠宿における住民憲章の二段階法制化を事例として	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	6. 最初と最後の頁 2637-2647
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 西川亮, 中島直人, 窪田亜矢, 西村幸夫	4. 巻 82-470
2. 論文標題 戦前の別府市における都市計画に関する研究	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	6. 最初と最後の頁 2597-260
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 西川亮, 中島直人, 窪田亜矢, 西村幸夫	4. 巻 82-736
2. 論文標題 1933年都市計画法改正による観光町村への法定都市計画の敷衍の特異性: 戦前の観光町村に対する法定都市計画に関する研究 (その1)	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	6. 最初と最後の頁 1475-1485
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また, その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 Imoto, S., Otsuki, T	4. 巻 -
2. 論文標題 Establishment and development process of non-formal school environment in a slum in Nairobi; Focusing on relationship between school and local community	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 apan Architectural Review International Journal of Japan Architectural Review for Engineering and Design (JAR),	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Dharmarathna W.R.S.S., Hato, E	4. 巻 -
2. 論文標題 Comparison of sequential time discount rate in differential disastrous networks	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Transportation Research Board 97th Annual Meeting	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hayakawa, K., Hato, E	4. 巻 -
2. 論文標題 Evaluation of dynamic traffic control in unsteady networks with closed-loop structures	5. 発行年 2018年
3. 雑誌名 Transportation Research Board 97th Annual Meeting	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Fukuyama, S., Ito, A., Hato, E.	4. 巻 -
2. 論文標題 Modeling of lane changing behavior with microscopic interactions using driving simulator	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 22nd HKSTS International Conference,	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Dharmarathna, W.R.S.S., Hato, E	4. 巻 -
2. 論文標題 Route choice behavior under extreme weather events in densified networks: a case study in Tokyo under torrential downpour	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 15th ITS symposium	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Yuki Oyama, Eiji Hato	4. 巻 85
2. 論文標題 A discounted recursive logit model for dynamic gridlock network analysis	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Transportation Research Part C: Emerging Technologies	6. 最初と最後の頁 509-527
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Hara, Y., Hato, E	4. 巻 -
2. 論文標題 Analysis of dynamic decision-making in a bicycle-sharing auction using a dynamic discrete choice model,	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Transportation	6. 最初と最後の頁 -
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 Honda, R. , Akiyama, M. , etc.	4. 巻 5-1
2. 論文標題 Seismic design for "Anti-Catastrophe, A study on the implementation as design codes	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 Journal of JSCE	6. 最初と最後の頁 346-356
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 松葉 義直 , 下園 武範 , 田島芳満	4. 巻 73-2
2. 論文標題 UAVを用いた波の伝播・遡上特性分析	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 土木学会論文集B 2 (海岸工学)	6. 最初と最後の頁 103-108
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 中村 駿一郎 , 田島芳満 , 神原 雅宏	4. 巻 73-2
2. 論文標題 低緯度帯における確率台風モデルの改良とその南太平洋島嶼国における沿岸ハザード評価への適用	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 土木学会論文集B 2 (海岸工学)	6. 最初と最後の頁 133-138
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 該当する

1. 著者名 神原 雅宏 , 田島芳満 , 中村 駿一郎 , 下園 武範	4. 巻 73-2
2. 論文標題 水路網の発達したミャンマーデルタ地帯における大規模高潮ハザードの評価	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 土木学会論文集B 2 (海岸工学)	6. 最初と最後の頁 259-264
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 赤松 空之 , 田島芳満 , 下園 武範 , 佐藤 慎司	4. 巻 73-2
2. 論文標題 海岸線モニタリングにおける合成開口レーダの適用性の分析	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 土木学会論文集B 2 (海岸工学)	6. 最初と最後の頁 1621-1626
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 佐貴 宏 , 渋尾 欣弘 , 李 星愛 , 吉村 耕平 , 田島芳満 , 古米 弘明 , 佐藤 慎司	4. 巻 73-2
2. 論文標題 都市沿岸部を対象とした浸水ナウキャストシミュレーション	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 土木学会論文集B 2 (海岸工学)	6. 最初と最後の頁 499-504
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 瀬戸 祥太 , 田島芳満	4. 巻 73-2
2. 論文標題 前傾化した波の作用下におけるサンゴ礁移動特性の実験的研究	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 土木学会論文集B 2 (海岸工学)	6. 最初と最後の頁 523-528
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 山中 悠資 , 田島芳満	4. 巻 73-2
2. 論文標題 段波と短周期波の重合場における波圧特性に関する実験的研究	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 土木学会論文集B 2 (海岸工学)	6. 最初と最後の頁 391-396
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスとしている (また、その予定である)	国際共著 -

1. 著者名 益邑明伸, 窪田亜矢	4. 巻 51-3
2. 論文標題 岩手県釜石市、大槌町の津波被災からの事業再開・継続における事業用公設仮設施設の役割	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 423-430
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 李美沙, 窪田亜矢	4. 巻 51-3
2. 論文標題 原発複合被災地における事業所再開に関する研究	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 1054-1061
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 益邑明伸, 窪田亜矢	4. 巻 29
2. 論文標題 東日本大震災からの復興過程における産業用公設応急仮設建築物の制度設計と整備実態	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 地域安全学会論文集	6. 最初と最後の頁 229-237
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 神原康介・窪田亜矢・黒瀬武史他2名	4. 巻 81-724
2. 論文標題 大槌町赤浜集落の避難先の実態と日常拠点・計画避難地の関係：日常生活と緊急避難期から避難生活期までの各期間に着目して	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本建築学会計画系論文集	6. 最初と最後の頁 1333-1343
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 李美沙・窪田亜矢	4. 巻 132-1695
2. 論文標題 原発複合被災地における協働を目指して - 「小高復興デザインセンター」設立1年目の取り組み	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 建築雑誌	6. 最初と最後の頁 44-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 窪田亜矢	4. 巻 632
2. 論文標題 地域を持続させる二つの方法 「被災の記憶の継承」と「復興に向けた歴史の共有」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 月刊文化財	6. 最初と最後の頁 14-17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 窪田亜矢	4. 巻 107-3
2. 論文標題 五年目の復興計画を検証する、津波被災地と原発被災地の二つの事例から	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 都市問題	6. 最初と最後の頁 88-96
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 浦田淳司, 羽藤英二, 柳沼秀樹	4. 巻 72
2. 論文標題 将来効用の動学的異質性を考慮した避難開始選択モデルの構築	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 土木学会論文集	6. 最初と最後の頁 261-277
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大山雄己, 羽藤英二	4. 巻 51-3
2. 論文標題 時空間制約と経路相関を考慮した歩行者の活動配分問題	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 680-687
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 福山祥代, 羽藤英二	4. 巻 51-3
2. 論文標題 確率的活動領域に着目した歩行者の速度・角度選択問題	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 都市計画論文集	6. 最初と最後の頁 688-694
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Troncoso Parady, G., Hato	4. 巻 82-2
2. 論文標題 Accounting for spatial correlation in tsunami evacuation destination choice: A case study of The Great East Japan Earthquake	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Natural Hazards	6. 最初と最後の頁 797-87
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Shafique, M. A., and Hato, E	4. 巻 16-5
2. 論文標題 Travel Mode Detection with Varying Smartphone Data Collection Frequencies	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Sensors	6. 最初と最後の頁 716
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tajima, Y., Gunasekara, K.H., Shimozone, T. and E.C. Cruz	4. 巻 58-1
2. 論文標題 Study on locally varying characteristics induced by super typhoon Haiyan. Part I: Dynamic behavior of storm surge and waves around San Pedro Bay	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Coastal Engineering Journal	6. 最初と最後の頁 27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1142/S0578563416400027	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Tajima, Y., Shimoazono, T., Gunasekara, K.H., and E.C. Cruz	4. 巻 58-1
2. 論文標題 Study on locally varying characteristics induced by super typhoon Haiyan. Part II: Deformation of storm waves on the beach with fringing reef along the east coast of Eastern Samar	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Coastal Engineering Journal	6. 最初と最後の頁 24
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1142/S0578563416400039	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Kennedy, A.B., Mori, N., Zhang, Y., Yasuda, T., Chen, S., Tajima, Y., Pecor, W. and K. Toride	4. 巻 58-1
2. 論文標題 Observations and Modeling of Coastal Boulder Transport and Loading during Super Typhoon Haiyan	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Coastal Engineering Journal	6. 最初と最後の頁 40
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1142/S0578563416400040	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田島芳満・桐ヶ谷直也・櫻澤崇史	4. 巻 72-2
2. 論文標題 漂流物群と氾濫流の相互作用に関する研究	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 土木学会論文集	6. 最初と最後の頁 205-210
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejoe.72.1_205	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田島芳満・藤川大樹	4. 巻 72-2
2. 論文標題 礫浜における砕波および遡上特性に関する研究	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 土木学会論文集	6. 最初と最後の頁 904-909
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejoe.72.1_90	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐貫宏・田島芳満・琴浦毅・前田勇司・茅根創	4. 巻 72-2
2. 論文標題 州島の形成とサンゴ砂礫の移動に関する現地調査	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 土木学会論文集	6. 最初と最後の頁 43-48
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/ jscejoe.72.1_43	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gunasekara, K., Tajima, Y., Chi, L.H., Cuong, H.V., Hung, N.T., and L.M. Hung	4. 巻 72-2
2. 論文標題 Satellite based monitoring of turbidity around HaiPhong Bay, Vietnam	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of JSCE	6. 最初と最後の頁 772-777
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/jscejoe.72.1_772	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 田島芳満・藤川大	4. 巻 72-2
2. 論文標題 礫斜面上を伝播・遡上する波による掃流移動モデルの構築	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 土木学会論文集	6. 最初と最後の頁 571-576
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/kaigan.72.1_571	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 藤川大樹・田島芳満	4. 巻 72-2
2. 論文標題 潮汐を考慮したサンゴ州島形成課程の再現実験	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 土木学会論文集	6. 最初と最後の頁 553-558
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/kaigan.72.1_553	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 山中悠介・佐藤慎司・田島芳満・下園武範	4. 巻 72-2
2. 論文標題 南海トラフ巨大津波のソリトン分裂に関する研究	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 土木学会論文集	6. 最初と最後の頁 403-408
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/ kaigan.72.l_403	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前田勇司・琴浦毅・佐貫宏・田島芳満・茅根創	4. 巻 72-2
2. 論文標題 サンゴ礁州島形成のための対策工に関する研究	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 土木学会論文集	6. 最初と最後の頁 823-828
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/ kaigan	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 櫻澤崇史・田島芳満	4. 巻 72-2
2. 論文標題 漂流物群を伴う氾濫場の平面実験とその特性の分析	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 土木学会論文集	6. 最初と最後の頁 1153-1158
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/kaigan.72.l_1153	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 SETO Shota, SHIMOZONO Takenori, TAJIMA Yoshimitsu, KAWASAKI Akiyuki	4. 巻 72
2. 論文標題 TIDAL FLOW CHARACTERISTICS IN YANGON RIVER CONFLUENCE	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B2 (Coastal Engineering)	6. 最初と最後の頁 I_1669 ~ I_1674
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/kaigan.72.l_1669	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 UEJIMA Hirofumi、SHIMOZONO Takenori、TAJIMA Yoshimitsu	4. 巻 72
2. 論文標題 EXPERIMENTAL STUDY ON TSUNAMI-INDUCED PRESSURE DISTRIBUTION ALONG CURVED SEAWALLS	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of Japan Society of Civil Engineers, Ser. B2 (Coastal Engineering)	6. 最初と最後の頁 I_1063 ~ I_1068
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/kaigan.72.I_1063	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 佐貫宏・渋尾欣弘・李星愛・吉村耕平・田島芳満・古米弘明・佐藤慎司	4. 巻 72-2
2. 論文標題 様々な氾濫因子を考慮した都市沿岸部の氾濫予測解析	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 土木学会論文集	6. 最初と最後の頁 517-522
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/kaigan.72.I_517	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 前田勇司・琴浦毅・佐貫宏・田島芳満・茅根創	4. 巻 72-2
2. 論文標題 サンゴ州島形成促進のための対策工に関する研究	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 土木学会論文集	6. 最初と最後の頁 72
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Gunasekara, K., Tajima, Y., Higashi, R., Hanh, C.L., and Cuong H.V	4. 巻 72-2
2. 論文標題 Satellite-based monitoring of behavior of fine sediment discharge from the rivers	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Journal of JSCE	6. 最初と最後の頁 1753-1758
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.2208/kaigan.72.I_1753	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Mitsuyoshi Akiyama, Yoshikazu Takahashi, Yoshiya Hata and Riki Honda	4. 巻 1-3
2. 論文標題 Lessons from the 2016 Kumamoto earthquake based on eld investigations of damage to bridge	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Int. J. Earthquake and Impact Engineering	6. 最初と最後の頁 225-252
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1504/IJEIE.2016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Takashi Miyamoto, Riki Honda	4. 巻 1-1
2. 論文標題 Synthesis of representative wave of spectrumtting input motions based on iterative learning procedure	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Int. J. Earthquake and Impact Engineering	6. 最初と最後の頁 159-173
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) 10.1504/IJEIE.2016	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 本田利器・秋山充良・片岡正次郎・高橋良和・野津厚・室野剛隆	4. 巻 72-4
2. 論文標題 「危機耐性」を考慮した耐震設計体系試案構築にむけての考察	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 土木学会論文集	6. 最初と最後の頁 459-472
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 野津厚・室野剛隆・本山紘希・本田利器	4. 巻 72-4
2. 論文標題 鉄道・港湾構造物の設計指針と「危機耐性」	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 土木学会論文集	6. 最初と最後の頁 448-458
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 高橋良和・秋山充良・片岡正次郎・本田利器	4. 巻 72-4
2. 論文標題 国内外の道路橋の設計指針にみられる「危機耐性」の分析	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 土木学会論文集	6. 最初と最後の頁 821-830
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 橋本剛志, 深井祐紘, サキヤラタ, 井本佐保里, 大月敏雄	4. 巻 22-51
2. 論文標題 高速道路休憩施設の外部開放の実態と地域連携の可能性に関する研究	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 日本建築学会技術報告集	6. 最初と最後の頁 673-676
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 有
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 本田利器	4. 巻 8
2. 論文標題 社会基盤のレジリエンスのために技術者のセンスの活用を 熊本地震の被害と耐震設計における「危機耐性」の議論から	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 Ace 建設業界	6. 最初と最後の頁 31
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 Riki Honda	4. 巻 17
2. 論文標題 Infrastructure for Disaster Resilience { Some Lessons from the Kumamoto Earthquake	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 U.S.-Japan Research Institute	6. 最初と最後の頁 17
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 窪田亜矢	4. 巻 46-3
2. 論文標題 原発被災からの復興に向けて 小高復興デザインセンター (東日本大震災と原発事故(シリーズ23))	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 環境と公害	6. 最初と最後の頁 56-61
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 李美沙, 窪田亜矢	4. 巻 3
2. 論文標題 原発複合被災地における協働を目指して「小高復興デザインセンター」設立1年目の取組み	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 建築雑誌	6. 最初と最後の頁 44-45
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大月敏雄	4. 巻 65
2. 論文標題 団地再生の夜明け-再生し続ける団地を目指して	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 都市計画	6. 最初と最後の頁 72-75
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 大月敏雄	4. 巻 65
2. 論文標題 雑誌「住宅」における東日本大震災住宅の5年間	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 住宅	6. 最初と最後の頁 3-6
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -



1. 著者名 井本佐保里	4. 巻 613
2. 論文標題 建築が社会を変えるとき-ケニアのノンフォーマルスクール	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 地域開発	6. 最初と最後の頁 31-34
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井本佐保里	4. 巻 774
2. 論文標題 ネパール・ゴルカ地震後の住宅再建	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 建築士	6. 最初と最後の頁 3
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井本佐保里	4. 巻 773
2. 論文標題 スラムでの教室建設	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 建築士	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井本佐保里	4. 巻 772
2. 論文標題 磐梯山と復興	5. 発行年 2017年
3. 雑誌名 建築士	6. 最初と最後の頁 5
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

1. 著者名 井本佐保里	4. 巻 771
2. 論文標題 キッチンのある保育空間-アメリカの保育所	5. 発行年 2016年
3. 雑誌名 建築士	6. 最初と最後の頁 25-27
掲載論文のDOI (デジタルオブジェクト識別子) なし	査読の有無 無
オープンアクセス オープンアクセスではない、又はオープンアクセスが困難	国際共著 -

〔学会発表〕 計27件 (うち招待講演 3件 / うち国際学会 9件)

1. 発表者名 須沢菜, 大月敏雄
2. 発表標題 広域避難後の生活・住まいの変化と課題 -仙台市T区災害公営住宅の市外被災世帯を対象として
3. 学会等名 人間・環境学会大会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Hitomu Kotani and Riki Honda
2. 発表標題 What Motivated Disaster Recovery Actions of Rural Households? A Case of the 2015 Nepal Gorkha Earthquake
3. 学会等名 The 12th International Symposium of SSMS
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 Kanakano Yasutomi, Riki Honda, Hitomu Kotani and Takahiro Fueki
2. 発表標題 Effect of Culture Preservation Policy on Capacity of Indigenous Community Relocated after 2009 Morakot Typhoon in Taiwan
3. 学会等名 The 12th International Symposium of SSMS
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 窪田 亜矢
2. 発表標題 原発被災地域における七自治体の特徴に関する比較考察
3. 学会等名 日本建築学会
4. 発表年 2019年

1. 発表者名 境井 美恵、黒瀬武史
2. 発表標題 山口県宇部市岬地区における市街化プロセスの分析
3. 学会等名 日本建築学会九州支部研究発表会
4. 発表年 2020年

1. 発表者名 窪田 亜矢
2. 発表標題 小高復興デザインセンター設置の経緯とこれまでの活動に関する考察 避難指示解除を迎えた原発被災地域・南相馬市小高区の実態把握と復興に向けた取り組み～その1
3. 学会等名 日本建築学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 窪田 亜矢
2. 発表標題 復興まちづくりと空間デザイン技術
3. 学会等名 日本建築学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Aya KUBOTA
2. 発表標題 Characteristics of Institutions of Spatial Planning for Recovery after 3.11
3. 学会等名 International Planning History Society Conference (国際学会)
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井本佐保里
2. 発表標題 ナイロビスラムにおける住宅構成住まい方の実態について
3. 学会等名 一般社団法人日本家政学会研究発表
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 井本佐保里
2. 発表標題 保育施設による自主避難所の開設と運営の実態に関する研究 2016年熊本地震における熊本市東区を対象として
3. 学会等名 日本建築学会大会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 森田 健太郎, 黒瀬 武史
2. 発表標題 海岸線の変化に伴う漁業集落の空間構成の変容に関する研究 長崎県壱岐市勝本浦正村地区を事例として
3. 学会等名 日本建築学会九州支部研究報告会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 池田 慎太郎, 黒瀬 武史
2. 発表標題 福岡市における路上生活者の寝場所に関する研究
3. 学会等名 日本建築学会大会(東北)学術講演会
4. 発表年 2018年

1. 発表者名 Xiang ZHOU & Aya KUBOTA
2. 発表標題 Daily Living Space in Between State and Family: Phenomenon of Adjacent Segregation and Integration of Shanghai Historic Lane Neighborhood
3. 学会等名 ICOMOS Selected papers (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 上條慎司, 小野寺康, 窪田垂矢, 黒瀬武史
2. 発表標題 岩手県上閉伊郡大槌町赤浜地区の震災復興計画について
3. 学会等名 土木学会、景観・デザイン研究講演集(国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 Chiyo ISHIYAMA , Aya KUBOTA and Yukio NISHIMURA
2. 発表標題 by, and for the Residents at the Earliest Stage of Preservation-Case of Tsumago-juku in Japan
3. 学会等名 International Conference of Asian -Pacific Planning Societies (国際学会)
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 益邑明伸, 窪田亜矢
2. 発表標題 デジタル住宅地図データベースを利用した被災市街地の空間変容の分析方法の検討
3. 学会等名 地域安全学会
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 李美沙, 窪田亜矢, 萩原拓也, 益邑明伸
2. 発表標題 避難指示解除後の自治体の取り組みから見えてきた課題 南相馬市小高区における行政区座談会を通じて
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演梗概集,
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 新妻直人, 窪田亜矢, 萩原拓也
2. 発表標題 長期化した被災地集落のコミュニティの変化について 大槌町赤浜地区における公民館・談話室の分析
3. 学会等名 日本建築学会大会学術講演梗概集
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 太田慈乃
2. 発表標題 原発被災した上浦行政区の集落再生への取り組み 南相馬市小高区における地域構想策定に向けて
3. 学会等名 日本建築学会
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 李美沙
2. 発表標題 小高復興デザインセンターの活動
3. 学会等名 復興デザインフォーラム
4. 発表年 2017年

1. 発表者名 窪田亜矢
2. 発表標題 What Happened after the Severe Accident of Nuclear Power Station? : Case study of Recovery Plan and Actions for Fukushima, Minami-Soma City-
3. 学会等名 The International Symposium on Architectural Interchanges in Asia (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 益邑明伸
2. 発表標題 The System of the Temporary Facilities for Private Business Built by the Governments after Disasters in Japan
3. 学会等名 The International Symposium on Architectural Interchanges in Asia (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Tajima, Y.
2. 発表標題 Case study on impact of storm waves on inundation characteristics
3. 学会等名 IUTAM Symposium on Storm Surge Modeling and Forecasting (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Tajima, Y
2. 発表標題 Lessons of the coastal disaster due to typhoon Haiyan
3. 学会等名 The 15th Int. Symposium on New Technologies for Urban Safety Mega Cities in Asia (招待講演) (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 Tajima, Y.
2. 発表標題 Modeling of bedload transport on a coral gravel beach
3. 学会等名 The 3rd Int. Conf. on Comp. Science and Eng. (国際学会)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 本田利器
2. 発表標題 「予防力の観点から見た平成28年熊本地震：社会基盤」
3. 学会等名 サイエンスアゴラ2016 (招待講演)
4. 発表年 2016年

1. 発表者名 本田利器
2. 発表標題 東日本大震災からの学び～インフラの“危機耐性”
3. 学会等名 東日本大震災合同調査報告・総集編刊行記念シンポジウム」(招待講演)
4. 発表年 2016年



〔図書〕 計14件

1. 著者名 黒瀬武史、矢吹剣一	4. 発行年 2019年
2. 出版社 建築資料研究社	5. 総ページ数 204
3. 書名 造景2019 事例集 日本列島まちづくり ; 特集 巨大災害 / 都市縮小とまちづくり	

1. 著者名 窪田亜矢・黒瀬武史・上條慎司・萩原拓也・田中暁子・益邑明伸・新妻直人	4. 発行年 2018年
2. 出版社 萌文社	5. 総ページ数 314
3. 書名 津波被災集落の復興検証-プランナーが振り返る大槌町赤浜の復興	

1. 著者名 東京大学復興デザイン研究体	4. 発行年 2017年
2. 出版社 東京大学出版会	5. 総ページ数 256
3. 書名 復興デザインスタジオ-災害復興の提案と実践	

1. 著者名 大月敏雄	4. 発行年 2017年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 -
3. 書名 町を住みこなす 超高齢社会の居場所づくり	

1. 著者名 大月敏雄	4. 発行年 2017年
2. 出版社 王国社	5. 総ページ数 -
3. 書名 住まいと町とコミュニティ	

1. 著者名 窪田亜矢	4. 発行年 2017年
2. 出版社 朝倉書店	5. 総ページ数 -
3. 書名 まちを読み解く -景観・歴史・地域づくり	

1. 著者名 窪田亜矢	4. 発行年 2017年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 -
3. 書名 3.11を心に刻んで 2017』	

1. 著者名 窪田亜矢	4. 発行年 2017年
2. 出版社 学芸出版社	5. 総ページ数 -
3. 書名 都市経営時代のアーバンデザイン	

1. 著者名 窪田亜矢	4. 発行年 2017年
2. 出版社 春風社	5. 総ページ数 -
3. 書名 都市の遺産とまちづくり～アジア大都市の歴史保全	

1. 著者名 西村幸夫、窪田亜矢他	4. 発行年 2016年
2. 出版社 学芸出版社	5. 総ページ数 224
3. 書名 都市経営時代のアーバンデザイン	

1. 著者名 窪田亜矢他	4. 発行年 2017年
2. 出版社 岩波書店	5. 総ページ数 112
3. 書名 3.11を心に刻んで	

1. 著者名 井本佐保里, 須沢菜, 千野優斗	4. 発行年 2017年
2. 出版社 NPO法人福島住まい・まちづくりネットワーク	5. 総ページ数 64
3. 書名 第2部市町村別アトラス データスケープ, 「福島アトラス-福島復興を考えるための地図集」	

1. 著者名 井本佐保里	4. 発行年 2016年
2. 出版社 日本建築学会	5. 総ページ数 304
3. 書名 第6章 仮設住宅 6-2-2配置計画、東日本大震災合同調査報告	

1. 著者名 窪田亜矢	4. 発行年 2016年
2. 出版社 日本建築学会	5. 総ページ数 72
3. 書名 東日本大震災合同調査報告 都市計画編	

〔産業財産権〕

〔その他〕

-

6. 研究組織

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	田島 芳満  (Tajima Yoshimitsu)  (20420242)	東京大学・大学院工学系研究科(工学部)・教授   (12601)	
研究分担者	井本 佐保里  (Imoto Saori)  (40514609)	日本大学・理工学部・助教   (32665)	
研究分担者	黒瀬 武史  (Kurose Takeshi)  (50598597)	九州大学・人間環境学研究院・准教授   (17102)	

6. 研究組織（つづき）

	氏名 (ローマ字氏名) (研究者番号)	所属研究機関・部局・職 (機関番号)	備考
研究分担者	本田 利器  (Honda Riki)  (60301248)	東京大学・大学院新領域創成科学研究科・教授    (12601)	
研究分担者	羽藤 英二  (Hato Eiji)  (60304648)	東京大学・大学院工学系研究科（工学部）・教授    (12601)	
研究分担者	大月 敏雄  (Ohtsuki Toshio)  (80282953)	東京大学・大学院工学系研究科（工学部）・教授    (12601)	

7. 科研費を使用して開催した国際研究集会

〔国際研究集会〕 計0件

8. 本研究に関連して実施した国際共同研究の実施状況

共同研究相手国	相手方研究機関